

USハイインカム・ストラテジー・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジなし

償還 運用報告書（全体版）

第41期（決算日 2017年3月10日） 第42期（償還）（償還日 2017年3月30日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「USハイインカム・ストラテジー・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジなし」は、信託約款の規定に基づき、2017年3月30日に信託期間が終了し、償還いたしました。
ここに、設定以来の運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、重ねてお礼申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2013年10月18日から2017年3月30日までです。
運用方針	主として、米国のハイイールド社債および優先担保付バンクローン（貸付債権）を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「US・インカム・ストラテジー・ファンド クラスA」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時に、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<642150>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近26期の運用実績

決算期	基 準 価 額 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		税 分 配	込 金	騰 落 率				
	円 銭		円		%	%	百万円	
17期(2015年3月10日)	11,731		60		3.2	0.1	97.0	1,450
18期(2015年4月10日)	11,683		60		0.1	0.1	96.5	1,435
19期(2015年5月11日)	11,653		60		0.3	0.1	96.8	1,382
20期(2015年6月10日)	12,012		60		3.6	0.1	96.9	1,382
21期(2015年7月10日)	11,648		60	△	2.5	0.1	96.9	1,288
22期(2015年8月10日)	11,745		60		1.3	0.1	97.0	1,295
23期(2015年9月10日)	11,386		60	△	2.5	0.1	97.0	1,231
24期(2015年10月13日)	11,159		60	△	1.5	0.1	97.0	1,202
25期(2015年11月10日)	11,370		60		2.4	0.1	96.0	1,204
26期(2015年12月10日)	11,022		60	△	2.5	0.1	97.0	1,146
27期(2016年1月12日)	10,478		60	△	4.4	0.1	96.8	1,033
28期(2016年2月10日)	10,055		60	△	3.5	0.1	96.8	956
29期(2016年3月10日)	10,131		60		1.4	0.1	97.0	923
30期(2016年4月11日)	9,787		60	△	2.8	—	97.0	818
31期(2016年5月10日)	9,765		60		0.4	—	97.0	817
32期(2016年6月10日)	9,619		60	△	0.9	—	96.7	797
33期(2016年7月11日)	9,069		60	△	5.1	—	97.0	744
34期(2016年8月10日)	9,234		60		2.5	—	97.0	759
35期(2016年9月12日)	9,280		60		1.1	—	96.6	763
36期(2016年10月11日)	9,270		60		0.5	—	97.1	759
37期(2016年11月10日)	9,276		60		0.7	—	96.0	755
38期(2016年12月12日)	10,192		60		10.5	—	96.8	672
39期(2017年1月10日)	10,281		60		1.5	—	96.8	603
40期(2017年2月10日)	9,917		60	△	3.0	—	96.6	545
41期(2017年3月10日)	9,990		60		1.3	—	97.0	532
(償還時)	(償還価額)							
42期(2017年3月30日)	9,581.29		—	△	4.1	—	—	490

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
			騰 落 率	騰 落 率				
第41期	(期 首) 2017年2月10日	円 銭 9,917	% —	% —	% —	% —	% 96.6	% 96.6
	2月末	9,831	△0.9	—	—	—	96.8	96.8
	(期 末) 2017年3月10日	10,050	1.3	—	—	—	97.0	97.0
第42期	(期 首) 2017年3月10日	9,990	—	—	—	—	97.0	97.0
	(償還時) 2017年3月30日	(償還価額) 9,581.29	△4.1	—	—	—	—	—

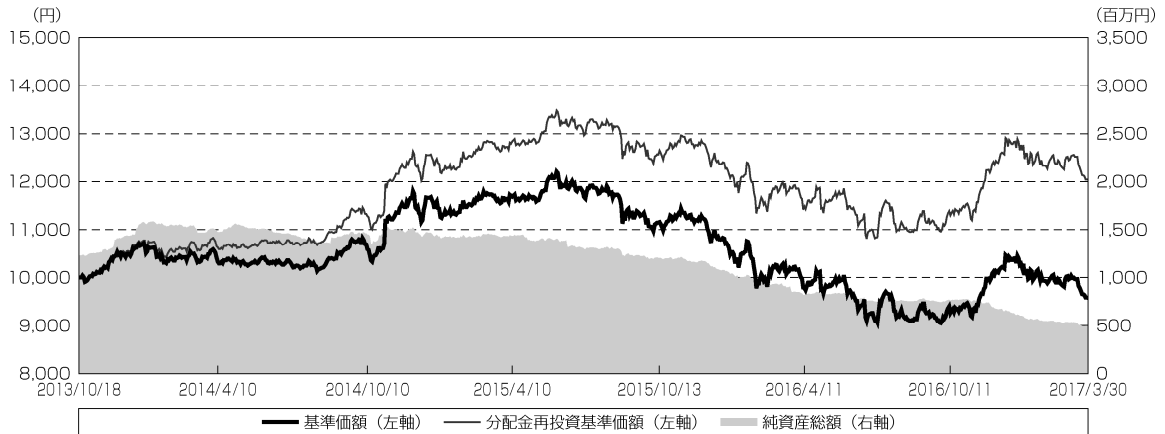
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2013年10月18日～2017年3月30日）

設定以来の基準価額等の推移



設 定 日：10,000円
 第42期末（償還日）：9,581円29銭（既払分配金（税込み）：2,400円）
 騰 落 率：20.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国のハイイールド債券および優先担保付バンクローン（貸付債権）を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・バンクローンおよびハイイールド債券市場がともに上昇したこと。
- ・保有銘柄からインカム収入を得たこと。
- ・円安/アメリカドル高が進行したこと。

<値下がり要因>

- ・保有する融資の一部が大きく値下がりしたこと。

投資環境

（ハイイールド債券市況およびバンクローン市況）

米国内外景気の回復を背景に、期間の初めから2014年年央にかけてハイイールド債券市場は堅調に推移しましたが、同年後半には原油安やウクライナ情勢の悪化を映じて、エネルギーセクター主導で調整しました。2015年前半のハイイールド債券市場は、世界的な低金利環境下で利回りへのニーズから底堅く推移しました。市場の大きな転換点となったのは、8月の中国における人民元切り下げでした。中国経済の先行き不安が高まり、リスク性資産全般が調整しました。中でも、原油をはじめとするコモディティ市場は急落しました。シェール企業の信用不安や、米国の利上げ開始時期に関する不透明感も重しとなり、ハイイールド債券市場はエネルギー・資源セクター主導で、2016年初めにかけて続落しました。その後、2月に原油価格が底打ちして反転上昇に転じたことが、ハイイールド債券市場のセンチメントを大きく変えました。リスクオンの動きが広がるなかで、ハイイールド債券市場はそれまで売り込まれていたエネルギー・資源セクターが牽引する形で、秋口にかけてほぼ一本調子の上昇を記録しました。11月の米国大統領選挙で共和党候補が予想外の勝利を収め、国債金利が急上昇したことから、ハイイールド債券市場は同月に小幅な下落となりましたが、調整はごく短期的・小規模なものとなり、12月以降、期間末にかけて再び好調に推移しました。期間を通じて、バンクローンも概ねハイイールド債券市場と同様の値動きとなりました。

（国内短期金利市況）

期間の初めから2015年12月にかけては、日銀による「量的・質的金融緩和」の推進などから、無担保コール翌日物金利は、概ね0.1%を下回る水準で推移しました。その間、国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、2014年9月にはマイナス金利まで低下し、その後も概ね0.0%を挟んだ水準で推移しました。

2016年1月以降は、日銀によるマイナス金利政策の導入を受けていずれもマイナス水準で推移し、無担保コール翌日物金利は-0.05%近辺、TB 3ヵ月物金利は-0.24%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

信託期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため「US・インカム・ストラテジー・ファンド クラスA」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

当ファンドは2013年10月18日の設定以来、約3年5ヵ月にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2017年3月30日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申しあげますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

（US・インカム・ストラテジー・ファンド クラスA）

バンクローンとハイイールド債券の相対価値に注目し、バンクローンとハイイールド債券の資産配分を決定することにより、魅力的な投資機会を追求しました。期間の初めから2015年7月にかけては、バンクローンを70%前後組み入れた、ローン中心のポートフォリオ構成としました。8月以降は、バンクローンを50%～60%、ハイイールド債券を40%～50%組み入れた、よりバランスを重視した構成とすると同時に、信用力が相対的に高めの銘柄に重点を置いた運用を行ないました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

信託期間中における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定し、1万口当たりの累計は2,400円（税込み）となりました。また、第41期における分配金は、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第41期
	2017年2月11日～ 2017年3月10日
当期分配金	60
（対基準価額比率）	0.597%
当期の収益	60
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,316

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2017年2月11日～2017年3月30日)

項 目	第41期～第42期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 13	% 0.135	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(4)	(0.038)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0.092)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.004)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.013	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(1)	(0.012)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	14	0.148	
作成期間の平均基準価額は、9,831円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○売買及び取引の状況

(2017年2月11日～2017年3月30日)

投資信託証券

銘 柄	第41期～第42期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	千口	千円	千口	千円
US・インカム・ストラテジー・ファンドクラスA	1,279	1,221	557,545	510,401

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第41期～第42期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 6	千円 6	千口 547	千円 549

○利害関係人との取引状況等

(2017年2月11日～2017年3月30日)

利害関係人との取引状況

<USハイインカム・ストラテジー・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジなし>

区分	第41期～第42期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 1	百万円 1	% 100.0	百万円 510	百万円 510	% 100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年2月11日～2017年3月30日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年2月11日～2017年3月30日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2017年3月30日現在)

2017年3月30日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第40期末	
		口	数
US・インカム・ストラテジー・ファンド クラスA			千口 556,266
合	計		556,266

親投資信託残高

銘	柄	第40期末	
		口	数
マネー・アカウント・マザーファンド			千口 540

○投資信託財産の構成

(2017年3月30日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	491,523	100.0
投資信託財産総額	491,523	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び償還(基準)価額の状況

項 目	第41期末	償 還 時
	2017年3月10日現在	2017年3月30日現在
	円	円
(A) 資産	538,583,190	491,523,126
コール・ローン等	20,608,468	491,523,126
投資信託受益証券(評価額)	516,698,713	—
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	527,221	—
未収入金	748,788	—
(B) 負債	5,715,847	1,514,988
未払収益分配金	3,200,276	—
未払解約金	1,716,691	827,175
未払信託報酬	423,981	286,592
未払利息	16	596
その他未払費用	374,883	400,625
(C) 純資産総額(A-B)	532,867,343	490,008,138
元本	533,379,380	511,421,894
次期繰越損益金	△ 512,037	—
償還差損金	—	△ 21,413,756
(D) 受益権総口数	533,379,380口	511,421,894口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,990円	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	9,581円29銭

(注) 当ファンドの第41期首元本額は549,866,787円、第41～42期中追加設定元本額は4,217,261円、第41～42期中一部解約元本額は42,662,154円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第41期0.9990円、第42期0.9581円です。

(注) 2017年3月30日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は21,413,756円です。

○損益の状況

項 目	第41期	第42期
	2017年2月11日～ 2017年3月10日	2017年3月11日～ 2017年3月30日
	円	円
(A) 配当等収益	4,336,249	△ 935
受取配当金	4,336,683	—
受取利息	8	—
支払利息	△ 442	△ 935
(B) 有価証券売買損益	3,252,869	△20,607,275
売買益	3,358,803	97,401
売買損	△ 105,934	△20,704,676
(C) 信託報酬等	△ 465,282	△ 314,509
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,123,836	△20,922,719
(E) 前期繰越損益金	△ 28,253,944	△23,238,671
(F) 追加信託差損益金	23,818,347	22,747,634
(配当等相当額)	(40,315,875)	(38,964,359)
(売買損益相当額)	(△ 16,497,528)	(△16,216,725)
(G) 計(D+E+F)	2,688,239	—
(H) 収益分配金	△ 3,200,276	—
次期繰越損益金(G+H)	△ 512,037	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	△21,413,756
追加信託差損益金	23,818,347	—
(配当等相当額)	(40,315,875)	(—)
(売買損益相当額)	(△ 16,497,528)	(—)
分配準備積立金	83,231,497	—
繰越損益金	△107,561,881	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2017年2月11日～2017年3月30日）は以下の通りです。

項 目	2017年2月11日～ 2017年3月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	4,070,379円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	40,315,875円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	82,361,394円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	126,747,648円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,376円
g. 分配金	3,200,276円
h. 分配金(1万口当たり)	60円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年10月18日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年3月30日		資産総額	491,523,126円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	1,514,988円
				純資産総額	490,008,138円
受益権口数	1,226,338,552口	511,421,894口	△714,916,658口	受益権口数	511,421,894口
元本額	1,226,338,552円	511,421,894円	△714,916,658円	1万口当たり償還金	9,581円29銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,244,860,029円	1,257,268,511円	10,100円	0円	0.0%
第2期	1,356,084,850	1,421,757,701	10,484	60	0.6
第3期	1,471,094,226	1,566,855,783	10,651	60	0.6
第4期	1,484,202,041	1,536,928,287	10,355	60	0.6
第5期	1,465,477,283	1,539,541,230	10,505	60	0.6
第6期	1,427,486,678	1,473,913,929	10,325	60	0.6
第7期	1,503,340,965	1,544,567,909	10,274	60	0.6
第8期	1,449,380,191	1,501,586,742	10,360	60	0.6
第9期	1,407,087,246	1,442,389,930	10,251	60	0.6
第10期	1,345,544,516	1,364,070,346	10,138	60	0.6
第11期	1,366,551,133	1,442,649,219	10,557	60	0.6
第12期	1,366,724,660	1,447,327,185	10,590	60	0.6
第13期	1,336,350,410	1,501,898,867	11,239	60	0.6
第14期	1,284,777,688	1,472,672,689	11,462	60	0.6
第15期	1,248,003,265	1,428,670,475	11,448	60	0.6
第16期	1,242,256,734	1,419,899,870	11,430	60	0.6
第17期	1,236,052,475	1,450,013,157	11,731	60	0.6
第18期	1,228,607,728	1,435,339,261	11,683	60	0.6
第19期	1,186,229,467	1,382,310,738	11,653	60	0.6
第20期	1,150,526,918	1,382,002,029	12,012	60	0.6
第21期	1,105,859,832	1,288,142,747	11,648	60	0.6
第22期	1,102,977,456	1,295,427,127	11,745	60	0.6
第23期	1,081,400,184	1,231,254,967	11,386	60	0.6
第24期	1,077,433,588	1,202,328,786	11,159	60	0.6
第25期	1,059,174,209	1,204,273,266	11,370	60	0.6
第26期	1,040,543,619	1,146,914,082	11,022	60	0.6
第27期	986,004,115	1,033,088,174	10,478	60	0.6
第28期	951,229,437	956,449,451	10,055	60	0.6
第29期	911,463,028	923,370,719	10,131	60	0.6
第30期	836,295,120	818,517,190	9,787	60	0.6

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第31期	837,348,858円	817,650,879円	9,765円	60円	0.6%
第32期	829,114,036	797,505,257	9,619	60	0.6
第33期	820,780,556	744,332,200	9,069	60	0.6
第34期	822,064,474	759,123,694	9,234	60	0.6
第35期	822,734,735	763,531,113	9,280	60	0.6
第36期	818,909,287	759,155,666	9,270	60	0.6
第37期	814,783,877	755,762,957	9,276	60	0.6
第38期	659,791,716	672,457,222	10,192	60	0.6
第39期	586,786,435	603,253,532	10,281	60	0.6
第40期	549,866,787	545,294,046	9,917	60	0.6
第41期	533,379,380	532,867,343	9,990	60	0.6

○分配金のお知らせ

	第41期
1 万口当たり分配金（税込み）	60円

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金（税込み）	9,581円29銭
-----------------	-----------

○お知らせ

約款変更について

2017年2月11日から2017年3月30日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。